

浜田商工会議所 四月号 青年部レポート

二月例会

会議所大ホール

去る二月十六日(月)十九時から青年部二十五名、県立大学生十九名参加のもと、島根県立大学の学生との交流会を開催しました。

青年部、県大生を交えた五テーブルに分かれ、コーディネートを中心に各テーブルごとに「県大生から見た浜田」というテーマで意見交換を行いました。伝統的な祭りについて、浜田の海について、魚について、娯楽、商業施設について等、様々な意見が飛び交い、非常に熱いディスカッションとなりました。また、自己研鑽をするという意味で、テーブルごとの発表は県立大学生にしていたいただきました。

懇親会では、学生にしっかりと食べてもらおうという金田委員長の思いにより、

肉料理を中心としたボリュウムあるオードブルを用意し、県立大学生から喜びの声があがっていました。

親元を離れ、仲間だけで生活している彼らに、一浜田市民として何かサポート出来ることはないだろうか、また、今回県立大学生からいただいた貴重な意見に対して、我々青年部がするべき行動は何なのかと感じた交流会でした。

(Relation委員会)

尾村 充



第三十四回 全国大会 京都大会 京都府京都市

去る二月二十一日(土)

京都市左京区にある「みやこメッセ」を主会場として開催された、「日本商工会議所青年部 第三十四回全国大会 京都大会」に、浜田YEGを代表して九名が参加させていただきました。

本来の全日程としましては、二月十九日(木)から二十二日(日)まででしたが、参加者の仕事の都合により、二十一日(土)からの参加となりました。

会場に到着すると、周辺では物産展等も出ており、盛り上がりを実感しました。会場である「みやこメッセ」のホールに入ると、更に熱気が充満しており、全国大会に対する皆様の熱意を感じることができました。

その頃ホールでは、小説家・放送作家の百田尚樹氏による記念講演が行われており、ためになる、そして時にはユーモアを交えた講演を拝聴することができました。

そして十八時からは大懇親会があり、全国のYEGの皆様方とお酒を酌み交わし、少なからず親睦を深め、熱い思いを共有できたのではないかと思います。

私自身、他の単会の方と交流するのは初めてでしたが、二十七年度は県青連が浜田で開催されることもあり、このような場に参加させてもらい大いに刺激を受け、今後の活動に向けて改めて頑張ろうと思えた全国大会でした。

(Relation委員会)

副委員長 内田 俊英



平成二十六年 卒業式 会議所大ホール

去る三月十日(火) 浜田

商工会議所大ホールにて、中東覚君、林健治君の卒業式を開催しました。

当日は岩谷会頭をはじめ、榎山副会頭、吉本副会頭、青年部OB会の皆様にご出席いただき、誠にありがとうございました。

中東覚君は平成六年四月、林健治君は平成十六年一月に入会され、長年に亘り青年部活動に取り組んでこられました。青年部活動の楽しさを教えていただいた先輩お二人の卒業を総務委員会として執り行える嬉しさと、そして、別れる寂しさの混同する気持ちを「ありがとうございました」の一言に込めて卒業を祝いました。特に懇親会では、先輩お二人に縁のある青年部OB会の皆様から、入会当時の思い出や伝説を送辞していただきました。また、現役会員も青年部活動を超えて共に過ごした日々を振

り返りながら青年部会員として最後の懇親を深めました。

先輩お二人とも浜田商工会議所青年部を卒業されましたが、卒業後も商工会議所活動をはじめ、地域発展の先導者として多方面で活躍されることを期待しております。中東覚君、林健治君ご卒業おめでとうございます。そして、ありがとうございました。

(総務委員会)

委員長 谷川 元気

